参考資料６

施設分野別実施計画テンプレート

# 横須賀市〇〇（施設群名称）配置適正化実施計画（作成例）

## 第１章　横須賀市〇〇配置適正化実施計画について

### １　計画の目的

（例）

本市にある公共施設の約７割は建築後 30 年以上となっており、今後建て替えや改修など、多額の更新費用が必要となります。

そこで、平成 26 年度に施設の適正な配置を実現するための将来構想として、「横須賀市施設配置適正化計画」（以下「適正化計画」）を策定しました。

「横須賀市〇〇配置適正化実施計画」は、「適正化計画」で示した将来構想を実現し、着実に進めるために策定するものです。

### ２　計画の期間

（例）

全体の計画期間は、最終年度を「適正化計画」の計画期間と合わせ、平成〇〇年度（△△年度）から平成 64 年度（2052 年度）とし、その間の目標およびそれに向けた考え方・ロードマップを示します。

また、平成 33 年度（2021 年度）までの目標および具体的なスケジュール・実行計画を示します。

※本計画では、計画の期間を以下の３つの期間に区分しています。

中長期：平成 30 年度（2018 年度）～ 平成 36 年度（2024 年度）
長　期：平成 37 年度（2025 年度）～ 平成 46 年度（2034 年度）
超長期：平成 47 年度（2035 年度）～ 平成 64 年度（2052 年度）

### ３　計画の対象施設

本計画の対象となる施設は以下のとおりです。

| 施設名称 | 行政地区 | 所在地 | 建築年度 | 経過年数 |
|---|---|---|---|---|
| A | T | a 町×-× | 昭和×年度(19××年度) | △年 |
| B | O | b 町×-× | 昭和×年度(19××年度) | △年 |

・
・
・
・

## 第２章　〇〇を取り巻く現状と課題

１　現状

（１）〇〇の配置

・・・

## 第３章　今後の取り組み

１　平成 64 年度までの目標およびそれに向けた考え方・ロードマップ

（例 1）　・Ａ、Ｃについては、〇〇のため廃止することとします。

（例２）　・Ｂ、Ｄについては、必要な改修等を実施し、維持します。

（１）施設別・期間別の考え方

| 施設名称 | H30～H36<br>（中長期） | H37～H46<br>（長期） | H47～H64<br>（超長期） |
|---|---|---|---|
| A | | 廃止 | |
| B | 大規模改修<br>（屋上防水） | | 大規模改修<br>（〇〇設備） |
| C | | | 廃止 |
| D | 大規模改修<br>（電気設備） | | 大規模改修<br>（〇〇設備） |

２　平成 33 年度までの目標および具体的なスケジュール・実行計画

（例１）　・平成 31 年度以降にＢの大規模改修（屋上防水）を行います。

（例２）　・平成 32 年度以降にＤの大規模改修（電気設備）を行います。

（１）改修のスケジュール・実行計画

| 年度 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34～ |
|---|---|---|---|---|---|
| Ｂ大規模改修<br>（屋上防水） | | 検討開始<br>○ ― ― | ― ― ― | ― ― ― | ------▶ |
| Ｄ大規模改修<br>（電気設備） | | | 検討開始<br>○ ― ― | ― ― ― | ------▶ |